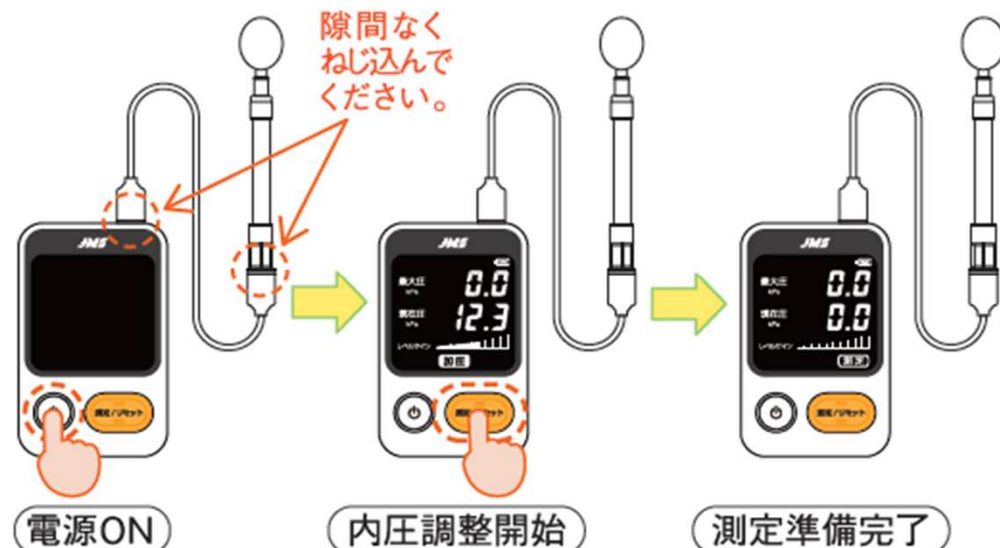


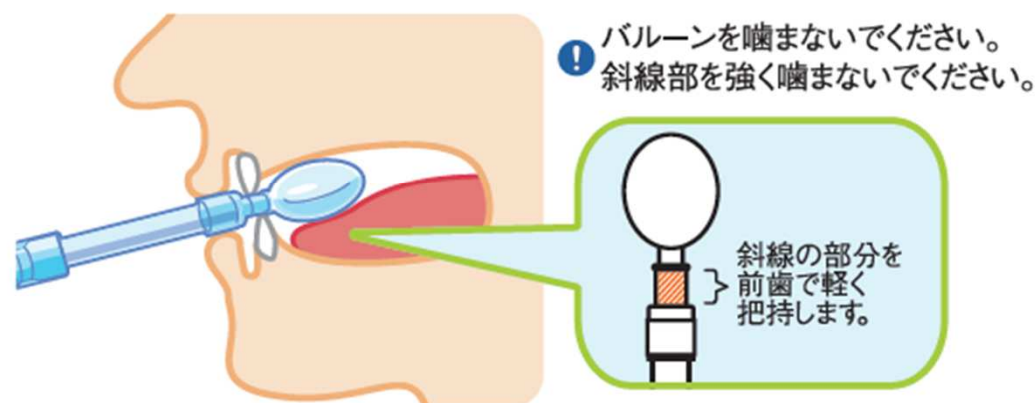
# JMS舌圧測定器クイックマニュアル

- ① デジタル舌圧計、連結チューブ、舌圧プローブを接続し、電源を入れ、内圧調整を行います。



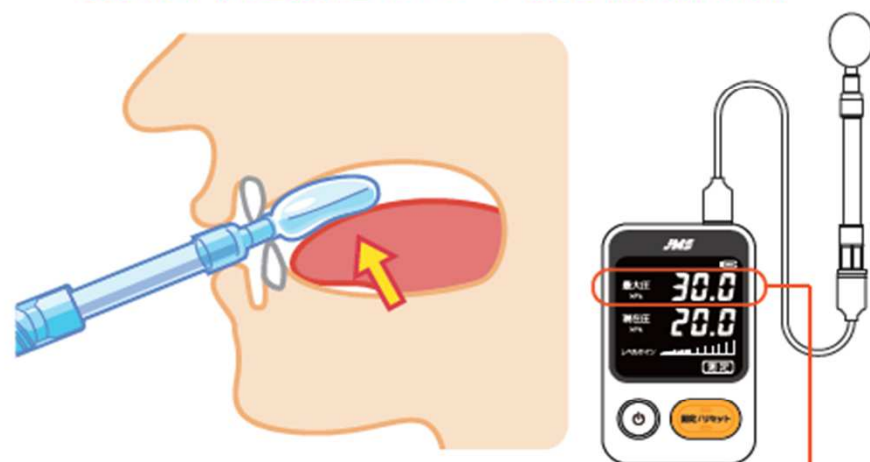
❗ 内圧調整中にバルーンに触れないでください。

- ② 舌圧プローブを患者の口腔内にセットします。



舌圧プローブを患者の口腔内にセットするときはバルーンの向きにご注意ください。

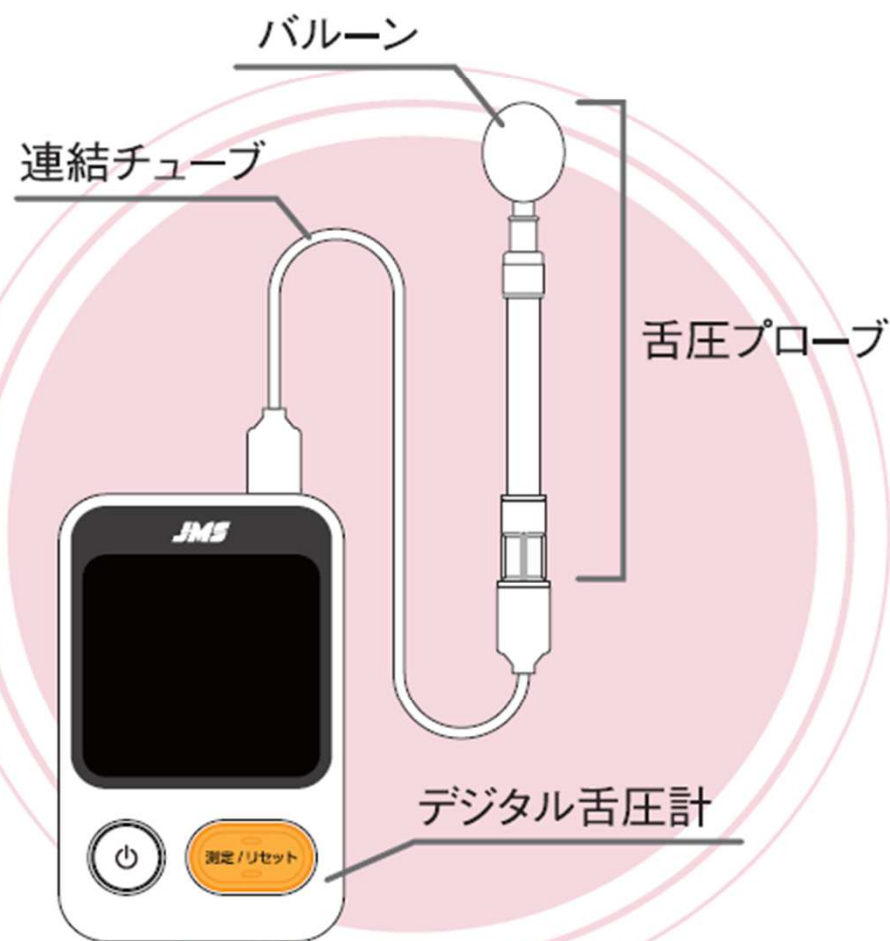
- ③ 最大舌圧を測定してください。  
数秒間(7秒を目安)舌でバルーンを押し潰し続けます。



最大舌圧はここに表示されます。

- ④ 同一患者で繰り返し測定する場合は、口腔内から舌圧プローブを取り出し、測定/リセットボタンを押して内圧調整後、②～③の操作を行ってください。
- ⑤ 測定が終了したら電源を切り、連結チューブ、舌圧プローブを取り外してください。
- ❗ 舌圧プローブは再使用禁止です。

## 構成部品の名称



販売名：JMS舌圧測定器  
医療機器承認番号：22200BZX00758000  
製造販売業者：株式会社ジェイ・エム・エス  
広島市中区加古町12番17号  
お問い合わせ先：0120-923-107

JM-TPM02E, E.1 7/21

## 舌の力(舌圧ぜつあつ)とは？

舌の力はごっくん(摂食嚥下機能)と深く関係しています。

舌は食べ物を口の中で受け止めたり、  
喉の奥に送り込んだり様々な働きをします。  
そういった働きには舌の力(舌圧:ぜつあつ)が必要です。

**20kPa未満は  
誤嚥リスクが高くなる!!**

- ・ムセ
- ・のどのつかえ
- ・誤嚥性肺炎の原因に



## 最大舌圧の目安

|               |                       |
|---------------|-----------------------|
| 成人男性 (20～59歳) | 35～                   |
| 成人女性 (20～59歳) | 30～                   |
| 60歳代 (60～69歳) | 30は欲しい                |
| 70歳以上高齢者      | <b>20は必要</b><br>(kPa) |

出典 津賀一弘:簡易型舌圧測定装置を用いる最大舌圧の測定,  
『顎口腔機能の評価』,日本顎口腔機能学会,41-44,2010.